

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（第2次燕市総合計画）

指標項目	意見・質問	回答	担当課
戦略1 定住人口増戦略			
金属製品製造品出荷額	ものづくり産業の活性化で、金属製品製造品出荷額がH29目標値を達成して、すばらしいと思いました。	企業の経営努力と市の産業施策の実施による成果の現れであると捉えています。今後、新型コロナウイルス感染症の影響によるマイナスが見込まれるため、引き続き対策を講じていきます。	商工振興課
ブランド米販売実績	一等米の出荷量が原因で販売実績が未達成になったとの説明であれば、出荷量さえ確保できれば目標が達成できる販売体制ができあがっているものと評価します。	販売促進に向けた取組を引き続き行うとともに、一等米の比率が上がるよう関係機関と栽培指導などに取り組んでいきます。	農政課
担い手の集積率・面積	米の消費量が毎年減少し、農業の就業者が高齢化し、担い手の不足、後継者難等の大きな課題をかかえています。 「要因分析・説明」の中で記載されたように農政課の頑張りを期待します。	課題に対し、有効的な対策、事業実施に向けて取り組んでいきます。	農政課
全国標準学力検査(NRT)偏差値平均50以上の中学1年生から3年生の教科の数(国語・数学・英語) ※中学1年生の英語を除く全8教科	国語・数学・英語の主要3教科が目標値より遅れているという事実は問題だと思います。中学生にとっては高校受験・大学受験とまだまだ先があるというのに主要教科が今いちというのは考えものです。いろいろなプロジェクトやパートナーシップ等の事業に期待していきたいと思えます。	学力向上については喫緊の課題と捉え、令和元年度より学力向上モデル校事業をスタートし、授業改善を柱とした学力向上策に重点的に取り組んでいるところです。今後も、この様な学力向上プロジェクトに加え、新潟大学パートナーシップ事業を充実させ、児童生徒の学力向上に努めます。	学校教育課
「学校に行くのは楽しい」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	「⑩要因分析・説明」にある“15%前後いる”“10%前後いる”ということの要因分析はしていますか。	「授業がよく分かる」と感じていない児童生徒が15%前後いることについては、基礎学力が十分定着していない、授業時の支援が適合していないなどの理由が考えられます。「友達関係や進路など学校生活に不安を感じている児童生徒が10%前後いる」の要因としては、自尊心の低下、学業不振、学級内における居場所の有無等が考えられます。	学校教育課
「将来の夢や目標を持っている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	P.4「将来の夢や目標を持っている」とした小学6年生と中学3年生の割合 評価▼につきまして、現在、私達つばめこまち応援隊も企画に参加し、社会人早期でのライフプラン、キャリアプランを意識してもらおうという動きがスタートしています。背景の根っこには少子化対策もあります。 将来の夢、目標というのは幼い頃から、つまり学校の枠だけではなく、家庭の中からもそのような方向に向けられて成長していく事が理想と考えます。 広く長い目で考えて現在社会人になりたての人は直接今からのフォローをスタートすると、”この世代が親になった時に”を意識していく事が必要かと思えます。地域の企業見学や体験だけでこのことにつなげようとするのには無理があるのではと感じました。	日常的な学校の教育活動及び家庭生活において、児童一人一人の勤労観、職業感を育むことによって、将来の夢や希望をもつものと考えています。ご指摘のとおり、企業見学や職場体験だけではなく、日常における様々な教育活動を通して「自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、様々な活動への興味関心を高める」「友達のよさを認め協力して活動する中で自分の持ち味や役割を自覚できるようにする」「苦手なこと失敗を恐れず取り組み、そのことが集団の中で役立つ喜びや自分への自信につながるようにする」意欲や態度を育むことによって、夢や目標をもつことができるように努めていきます。	学校教育課
子育て支援に対して満足と答えた人の割合(市民意識調査)	出生率について、この急激な減少は燕市だけなのでしょう。近隣市町村はどのような状況なのだろうか？また、隣接県はどのような状況だろうか？更に田舎と都会の対比はどのような状況だろうか？全国的に下がっている出生率は単に一市町村でなんとか問題ではないと思えます。子育て支援策の強化を政策にあげているが、支援策を増やす事が全体の対応策になるのだろうか？今後もっと根本的な対応をせまられて行くと思われれます。	合計特殊出生率の推移について、近隣の三条市、見附市、弥彦村等は同じような下落をしています。新潟市、長岡市は微増となっており、新潟県の数値としては、増減なしとなっています。 全国的にみると0.06の減少で、燕市の減少率0.07とほぼ同じです。都道府県別にみると、沖縄や宮崎などが高く、最下位は東京都、宮城県、北海道と続きます。全国の数値の推移としては、平成17年に最低値の1.26、それ以降少し盛り返し、1.4台で推移している状況です。 根本的な対応については国の支援策を期待するところですが、燕市としても現状で実施可能な支援策を講じており、子育て支援に対して満足と答えた人の増加につながっているものと考えます。	子育て支援課

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（第2次燕市総合計画）

指標項目	意見・質問	回答	担当課
特定不妊治療助成事業利用者の出生数(累計)	特定不妊治療助成事業利用者の出生数が増加したようで、より多くの方が出産できるようになり、人口増につながればと思います。	利用者の増加により出生数も増加傾向にあります。さらなる利用者・出生数の増加に向けて、制度の周知を図ります。	健康づくり課
育児相談会・育児教室参加者(年間延べ数)	対応者は保健師さんだけの範囲でよろしいのか、心のケアやうつ対策等の専門領域者なども含めて、親身になってのケアも視野に入れてはいかがでしょうか。	これまでも、母子健康手帳発行時以降、既往歴や家族状況などから支援が必要な方に対しては、医療機関などと連携して切れ目ない支援をおこなっています。また、出産後には各関係機関と連携し、「エジンバラ産後うつ病質問票」を実施し、うつのスクリーニングを行い、丁寧な聞き取りとともに、必要な方へは専門機関への受診勧奨を実施しています。	健康づくり課
育児が楽しいと感じる人の割合(乳幼児健診時のアンケート調査)	「⑧要因分析・説明」にある「児への対応」の「児」とは何を指しますか。	保護者から見た「自分の子ども」を指しています。3歳くらいになると、言葉や体力がさらに発達し、それまでより育児が大変になります。その時期に、仕事と育児の両立に悩む保護者が増加する傾向があるため、今後も保護者に寄り添った支援を行っていきます。	健康づくり課
福祉的就労施設利用者(就労移行支援、就労継続支援A・B)	施設利用者数の目標はR1実績値で達成しており、障害者の社会参加に対する気運の醸成が図られているものと思いますが、今後、最終目標値の達成に向けて、作業内容を充実させてより就労への意識・意欲を持ってもらうため、民間企業との連携をより深めていく視点を持つ必要があると思います。	燕市障がい者自立支援協議会就労支援専門部会の活動などにより、地元企業や関係団体との連携の輪は広がり始めていますので、引き続き拡大に努めていきます。	社会福祉課
戦略2 活動人口増戦略			
各種がん検診受診率	「⑧要因分析・説明」にある「胃がん検診が減少」したことの要因分析はしていますか。	胃がん検診は全国、県ともに年々受診率が減少しており、その要因の特定は困難です。燕市では、胃がんリスク検診の実施に伴い、胃内視鏡検査による精密検査実施者の増加による影響も考えられます。	健康づくり課
特定保健指導率	見込値「50%」が実績値「62%」と大きく上昇しています。「訪問電話相談等による個別の対応を強化したため指導率が上昇」とありますが、初回面談の当日実施や分割実施が可能となった影響はありますか。	ご指摘の通り、平成30年度からの特定保健指導改正に伴い、健診当日にすべての結果がそろわなくても、初回面接の分割実施が可能となった影響があります。健診当日に初回面接を行うことは、健康意識が高まっている時に受診者に働きかけることができ、2回目以降の教室などにつなげやすく指導率の増加に結びつきました。	健康づくり課
市民一人当たりの講座・講演会等の参加回数	「⑧要因分析・説明」中、新型コロナウイルス感染症対策の中、今後どのように対応していきますか。	新しい生活様式に沿って、マスクの着用、手指の消毒、換気、3密回避など、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、講座、講演会等を開催します。	社会教育課
ハッピー・パートナー企業の登録数	ハッピー・パートナー企業の登録数は、目標値には届かなかったようですが自社として登録し、社内の環境改善にもつながったので良かったです。	目標達成には至りませんでした。登録促進を図るため企業訪問等で働きかけを続けたことから、令和2年6月末現在53社の登録となりました。今後も企業訪問を継続していくこと、講演会等で登録企業からの取組事例の発表等を行い、登録しての職場での効果を発信することで目標値である60社登録に向け取組を進めていきたいと考えます。	地域振興課
戦略3 交流・応援(燕)人口増戦略			
観光客入込数 外国人観光客入込数 (燕三条地場産センター)	⑦最終目標値(R4年)の数値を上方改定していますが、新型コロナウイルス感染症対策の中、現実的でしょうか。	観光客入込数、外国人観光客入込数の最終目標値(R4年)の数値設定については、コロナウイルス感染症の影響が拡大する前に数値設定したものであり、コロナウイルス感染症の影響を考慮していません。今後のコロナウイルス感染症の拡大状況の推移を見ながら、計画の変更が必要になった場合は、適切に対応していきます。	観光振興課

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（第2次燕市総合計画）

指標項目	意見・質問	回答	担当課
戦略4 人口増戦略を支える都市環境の整備			
交通事故発生件数 高齢者交通事故発生件数 交通事故死者数	見込値では、全て「達成」としていたものが、実績値では全て「未達成」となりました。施策や取組自体が後退したとは考えられないため、発生原因をよく分析したうえで対応を検討すべきです。また、気象条件によって事故発生件数は変わると思われるので、考慮したうえで増加・減少の検証が必要です。	前年と比較すると、主に交差点事故や夜間事故が増加したことが「未達成」となった要因であると考えられます。このことを踏まえながら、各種交通安全活動などを通じ、発生件数の減少に繋げていきます。	生活環境課
バスや鉄道などの公共交通の充実に対して不満と答えた人の割合（市民意識調査）	現在 越後線 吉田～分水間 午前2回位（9時～11時）午後2回位（12時～14時）の分水駅～吉田駅直通駅間バス（分水駅～吉田駅直通）の運行はどうなっていますか。	分水駅～吉田駅間の直通バスはありません。燕市循環バス「スワロー号」が分水駅～吉田駅間の10:55～11:24、12:22～12:51の2便。吉田駅～分水駅間の9:31～10:00、10:57～11:26、13:26～13:55の3便が運行しています。	生活環境課
全体			
全体	十分な成果が見て取れます。しかし、今の状況を考えて、今まで通りのやり方では厳しいと感じます。（コロナやコロナに付随する経済問題）	総合計画は中期的な計画であり、外部要因による様々な影響が計画期間内にあることを想定し、計画には目指すべき方向性を記載しております。新型コロナウイルス感染症による影響によって、個別の事業について変更すべき事由が発生した場合は、迅速に対応していきます。	企画財政課
全体	戦略3、交流人口・応援（燕）人口増戦略100%達成はすばらしいと思います。一方で、戦略1・2・4は「遅れている」の評価となった事業も多くみられます。引き続き、目標達成に向けて各種事業を積極的に実施していただきたいと思えます。	戦略3については、シティープロモーションの取組などが奏功し、100%の達成となりました。評価が「遅れている」となったものにつきましては、中間評価に記載の要因を踏まえ、計画終期までに目標値を達成、または少しでも目標に近づけるよう努めていきます。	企画財政課
全体	今回予期していなかった新型コロナウイルスによる影響を逸早く出る事業もあれば、後々影響を及ぼす事業も有ると思われるので、今回の中間評価の数字はあてにならない可能性が有ると思えます。	今回、書面協議でご提示した評価の中にも、既に新型コロナウイルス感染症による影響が生じているものがあります。評価にあたっては、新型コロナウイルス感染症等の影響を見極めながら、必要に応じて事業や指標の見直しを行うなど、適切に対応していきます。	企画財政課

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略）

○：総合戦略のKPI達成に有効であった、●：総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、△：それ以外

項番	該当頁	事業名	○	●	他	意見・質問	回答	担当課
①	P.7	燕三条ものづくりメッセ	17	0	0	個人的に行ってみたかったです。	県内外、海外の企業を含め250社以上の企業による出展ブースの他、講演会なども開催しています。個人での参加もできますので、ぜひご来場ください。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン見本市として開催する予定となっています。	商工振興課
						開催日数の問題が数字上の結果になったと考えられます。	1日あたりの数値目標の実績値は2割増となっており、一定の効果が得られたものと考えています。	商工振興課
						2020年はオンライン見本市として開催されることから、新たなビジネスチャンス拡大につながることを期待します。	新たな生活様式に準じた、これからのビジネスモデルとして成果に繋げていけるよう、引き続き取り組んでいきます。	商工振興課
						自己評価に記されたとおりだと思います。益々発展・拡充される事を期待します。	ご期待に沿えるよう、引き続き、取り組んでいきます。	商工振興課
						自社も出展させてもらいとても多くの方と会場ブースでそれぞれの企業の商品を知る事が出来ました。とても有効だったと思います。	本事業は参加企業によって成り立っているものです。引き続き、ご活用いただきたいと思っています。	商工振興課
						開催日数の減少から実績は前年比546件の減少となりましたが、出展企業数や来場者数は前年並みを維持しており、全国的な認知度も上昇しています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンラインでの開催となるが、新たな展示会形態として結果を検証して欲しいです。	新たな生活様式に準じた、これからのビジネスモデルとして成果に繋げていけるよう、引き続き取り組んでいきます。	商工振興課
						今後について密をさける対策が重要。インターネットでのHP・動画を使っていったら良いと思います。	新たな生活様式に準じた、これからのビジネスモデルとして成果に繋げていけるよう、引き続き取り組んでいきます。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン見本市として開催する予定となっています。	商工振興課
						相談件数の減少は残念ですが、開催日数の減少によるものだと思われます。	1日あたりの数値目標の実績値は2割増となっており、一定の効果が得られたものと考えています。	商工振興課
					開催日数の確保が肝要であり、その確保のために交付金が活用されたものと考えます。	多くの事業者から来場してもらえるよう、新たな生活様式に準じた、開催方法を模索し、これからのビジネスモデルとして成果に繋げていけるよう、引き続き取り組んでいきます。	商工振興課	
②	P.9-10	次世代産業育成支援事業	17	0	0	自己評価をみて、効果の程が伝わってきました。釘、煙管、食器から新しい時代に進んでいるを感じました。	引き続き、変化を恐れずチャレンジする事業者をサポートしていきます。	商工振興課
						・各事業は全体として見ると良かったのではないのでしょうか。 ・自己評価に記されたとおりだと思います。 ・相当効果があったと思われます。	引き続き、新たな販路開拓に取り組んでいきます。	商工振興課
						フィギュアスケート用ブレードの開発はすばらしいと思いました。	引き続き、広報PRを行い新たな販路開拓に取り組んでいきます。	商工振興課
						フィギュアスケートブレード開発については、各種マスコミにも取り上げられて完成度も高いとの評価を得ています。ストーリー性もあり、需要は限られると思いますが、燕市の新しい製品として知名度を上げられる様、更に研究開発や情報発信を進めて欲しいです。	引き続き、研究会での製品のブラッシュアップを行い、SNSやセミナーでの講師参加、マスコミを通じての情報発信による販路開拓に取り組んでいきます。	商工振興課
						いずれも目標値を上回る実績であり、交付金は活用されたものと考えます。	交付金を活用した事業として、一定の効果は得られたと考えています。	商工振興課

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略）

○：総合戦略のKPI達成に有効であった、●：総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、△：それ以外

項番	該当頁	事業名	○	●	他	意見・質問	回答	担当課
③	P.11	燕市ものづくり品質管理制度 (TSO)	10	6	1	燕市独自の品質管理制度が県外、海外にどれだけ有効性を出せるのかがいまわかりません。	今後、オンラインでの商談が進むことが想定される中、実際に製品・加工技術を確認できない状況でTSO認証は有効性が高まると考えています。	商工振興課
						数字だけでは言えないところあるのでこれから期待します。	TSO認証により成約につながった企業が増えていくよう、引き続き取り組んでいきます。	商工振興課
						TSOの認証事業所数がKPIとなっていることから、達成には有効だが、TSOそのものが取引先において評価されているか検証が必要ではないでしょうか。	TSOの有効性を数値として評価できるよう、今後、新潟大学と協力しながら調査を進めていく予定としています。	商工振興課
						TSO自体の対外的周知と認知度に疑問を感じます。	TSO認証を有効なアピールツールとして活用いただけるよう、周知方法のみならず制度全体の見直しを図り、認知度向上に努めていきます。	商工振興課
						TSO認証事業所からは、加入により事業の質的向上が図れたとの話を聞いており、燕市製造業のレベルアップの為に必要の制度であると思います。入替等もありましたが、認証事業所数は横ばいであり(2018年は51社)、積極的な増加策が必要です。	いくつかの事業者はISO取得に伴い、認証事業者から外れるケースがあり、ISO取得の足掛かりとしての役割も担っていると考えます。引き続き、認証事業者が増えるよう、関係先と協力しながら取り組んでいきます。	商工振興課
						業種的には有効であったと思いますが、全体的には少し不足です。	引き続き、認証事業者が増えるよう、関係先と協力しながら取り組んでいきます。	商工振興課
						辞退3社の理由を踏まえて見直しが必要かと思えます。	TSO取得のインセンティブを検討し、より有効な事業をしていきます。	商工振興課
						TSOの信用確保が肝要であり、その確保のために交付金が活用されたものと考えます。今後は制度そのもの見直しも必要であると思料されます。	TSO取得のインセンティブを検討し、より有効な事業をしていきます。	商工振興課
④	P.13	IoT推進事業	15	1	1	個人的に興味ある事業です。個人参加は可能なのですか。	個人事業主として、事業にIoT活用を検討されているようであれば参加可能です。	商工振興課
						継続を見守っていききたいと思います。	現状、実証実験の段階であり、今後成果を得たうえで広く活用する事業者を増やしていきます。	商工振興課
						分業体制が多い中で、新しい分野の取組など、まだまだ技術的には未開拓部分が多いと思われるので、継続することで期待が出来ます。	分業体制が構築されている燕だからこそ、効果が得られる事業であると考えています。今後成果を得たうえで広く活用する事業者を増やしていきます。	商工振興課
						新事業に対して積極的に取り組んでいます。IoTの活用は今後の産業発展に不可欠であり、今後も積極的に取り組んで欲しいです。	引き続き、市内企業の生産性向上の一助となるよう、取り組んでいきます。	商工振興課
						農政への今後の展開に期待します。	IoT推進ラボのメンバーには農業関係者もおります。工業だけでなく農業分野での活用は生産性向上に大いに貢献できると考えています。引き続き、取り組んでいきます。	商工振興課 農政課
						農業における先端技術の開発・普及が肝要であり、そのために交付金が活用されたものと考えます。今後はその意義・効果も踏まえた検証が必要であると思料されます。	IoT推進ラボのメンバーには農業関係者もおります。工業だけでなく農業分野での活用は生産性向上に大いに貢献できると考えています。引き続き、取り組んでいきます。	商工振興課 農政課
⑤	P.15	つばめ創業支援事業	14	3	0	『日本一創業しやすいまち・燕』すっごい目的だと思います。しかしこれだと漠然としているので有る程度分野を絞り広く市外にアピールすることで人口増加を目指す事業だと思います。	現状を踏まえ、他課による移住支援策等との連携により、効果的にアピールできるよう工夫していきます。	商工振興課

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略）

○：総合戦略のKPI達成に有効であった、●：総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、△：それ以外

項番	該当頁	事業名	○	●	他	意見・質問	回答	担当課
						人数の問題は別として見直しが若干必要かと思ひます。	先進地の事例研究や情報収集に努めながら、必要な事業の見直しを行っていきます。	商工振興課
						新規創業者が創業しても、確かな技術力や知識が伴わないと持続させる事が難しいため、前後のフォローも大切です。	NICO、燕三条地場産業振興センターなどの支援機関において、帳簿管理、営業、リスク管理などの各種研修・講習・セミナーに加え、専門家を派遣するメニューもありますので、本事業を活用した者に対して活用を促すなど、引き続きフォローアップできるよう取り組んでいきます。	商工振興課
						特に若年者等を対象に創業に対する意識を向上させる取組が必要です。	全国的に見ると、創業は事務所等を持たずに創業するフリーランスの方が増えてきており、燕市においても平成30年に燕市に移住・創業した情報発信力を持つ若者を中心に、県外で活動していたフリーランスの若手の移住者が増加してきています。これらの方々と情報交換をしながら取り組んでいきます。	商工振興課
						燕市の穀町～秋葉町と続く商店街の再活用が外部からの移住者の力で動いているのはおもしろいことです。このことを更に上手く発信して、更に良いスパイラルとなって欲しいと思ひています。	移住者や若者たちの動きは興味深いものがあります。うまく情報発信しながら、引き続き、商店街活性化に向け取り組んでいきます。	商工振興課
						新規創業者数は一定の実績を確保しています。創業した業種内訳が不明ですが、燕市の基幹産業である製造業の創業は少ないものと思ひられます。業界維持のためには、事業継承と創業のサポートが必要であり、製造業の創業しやすい環境づくりが必要です。	本事業を活用して創業した方は、小売店、飲食店、理美容店などが主となっております。製造業の実績はありません。製造業の創業には機械装置等の設備投資、経営基礎知識や一定の技術力が必要になることから、本事業に限らず各種支援団体がさまざまな支援メニューが用意されています。これらの支援策の活用を促すなど、製造業が創業しやすい環境づくりに取り組んでいきます。	商工振興課
						目標値に達成していないのは残念ですが、必要な創業支援だと思ひられます。	必要な事業の見直しを行い、設定した目標値に達するよう、引き続き取り組んでいきます。	商工振興課
						創業者支援のあり方については、補助金・交付金のみならず、経営ノウハウの伝授においてニーズに応えられているか検証する必要があると思ひられます。	NICO、燕三条地場産業振興センターなどの支援機関において、帳簿管理、営業、リスク管理などの各種研修・講習・セミナーに加え、専門家を派遣するメニューもあります。引き続き、これらの支援機関、市内各種団体や金融機関等と連携しながら検証していきます。	商工振興課
⑥	P.16	農力アップ・コスト低減に向けたチャレンジ支援	17	0	0	儲かる農業のシステム作りセミナー等の開催は検討していますか。	農業経営の向上を図る為のセミナー開催を年度終盤に計画いたしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。引き続き、状況を鑑みながら実施に向け検討していきます。	農政課
						・これからに期待しつつ継続が必要です。 ・チャレンジファーマーの申請件数や直播栽培面積、担い手の集積率など目標値には届いていませんが、次世代の農業はとても大切な分野なので、今後とも支援が必要です。	引き続き、事業を実施していきます。	農政課
						支援事業の申請数は17年度から17件→18件→22件と着実に増加しており取り組みは有効と思料。昨年度、使いやすく実効性の高い制度へ改善する予定とあったが、どの様に改善を実施したか。	今年度事業では、ドローン等の先進技術の導入支援枠を新たに追加するとともに、既存の支援内容における要件の見直し等を行いました。今後も有効に制度を活用して頂けるよう見直し等を行いながら、事業を継続していきます。	農政課
						目標値に達成していないのは残念ですが、必要な創業支援だと思ひられます。	課題からの見直し検討を行い、継続して事業を実施していきます。	農政課

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略）

○：総合戦略のKPI達成に有効であった、●：総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、△：それ以外

項番	該当頁	事業名	○	●	他	意見・質問	回答	担当課
						チャレンジファーマーへの支援のあり方については、具体的にどのような支援をして、それが事業申請者のニーズに応えられているか検証する必要がありますかと思料されます。	農業情勢や営農環境等からのニーズに注視し、有効な活用へ見直し等を行いながら、事業を実施していきます。	農政課
⑦	P18-19	「東京つばめいと」をはじめとする学生・若手社会人等との交流促進	15	1	1	移住希望者に対し、空き家利用とのコラボはありますか。UIターン数字の結果は魅力ある街づくりの結果に比例すると思います。	空き家利用に関しては、首都圏で開催される移住フェア・相談会での出展時において、住まいの相談の中で「燕市空き家・空き地活用バンク」の紹介をしています。移住希望者に向けた街の魅力PRの一つとして、地域おこし協力隊の住居としての利用やカフェ等へのリノベーション事例などを伝えています。また、情報発信も連動した形で行っています。	地域振興課
						継続していく事により数字的な物は良くなるのではないのでしょうか。	東京つばめいと事業の取組の一つとして、ふるさとから離れて進学・就職した若者との交流や情報発信を行い、ふるさとから頑張る若者を応援している気持ちを届けることで、将来的なUターンのきっかけや、若者を通じたSNSでの拡散によるふるさとのPRに繋げていきたいと考えています。今後も、移住支援策と就業支援策をうまく連携させながら、継続的に取り組んでいきます。	地域振興課 商工振興課
						脱コロナ、コロナ後の社会のあり方としての地方の重要性を考えると重要です。	都会に住まなくても働けるリモートワークなど、ウィズコロナ・アフターコロナ対応の支援制度の検討が必要であると考えています。地方で暮らす良さを同時にPRすることで、転入促進だけでなく、転出抑制も図ることができると考えています。また、今後は都市部に集中していた人口が、徐々に魅力ある地方に分散していくことが想定されます。移住支援策と就業支援策をうまく連携させながら、継続的に取り組んでいきます。	地域振興課 商工振興課
						交流人口は増加するとしても実際に学生が就業・定着してくれるまちづくり、企業誘致が必要です。中小企業の集団というPRだけでは、魅力は少ないと思うのでその点をご考慮願っています。	雇用を創出する魅力的な企業誘致活動に取り組むとともに、インターンシップの活用や高校生向けの企業紹介事業を行い、学生に興味とやりがいを感じてもらえるよう、引き続き取り組んでいきます。	商工振興課
						インターンシップ利用者数は減少しましたが、受入企業と施設利用日数は伸びています。定住人口も増加しており、取り組みの効果が表れています。今後も積極的な推進が必要です。	今後も拠点施設を有する強みを最大限に生かして、事業周知に努めていきます。また、今後は受入企業を対象にしたアンケート調査等を実施し、インターン生の市内企業就職人数を確実に把握していきます。その数値の公表によって、市内企業側にインターンシップのメリットを伝え、受入企業の増加を目指していきます。	商工振興課
						SNSでの情報発信をよく目にします。	東京つばめいと事業の取組として様々なツールを使っている情報発信は重要と考え積極的に取り組んでいます。WEBサイトのほか、Twitter、Instagram、FacebookというSNSツールを用いて、勉強会や交流会といったイベントのお知らせや、すごい技術を持った会社の社長の紹介、メディアに取り上げられた情報、地元を思い出す日常の小ネタなど、若者に知ってほしい燕市の様々な情報を随時発信しており、これからも継続して取り組みます。	地域振興課
						交流には非常に有効だったと思われます。社会増につながる展開を期待します。	イベント等での交流や情報発信を継続することで、Uターンのきっかけとなり、魅力的なふるさとPRが将来的なUターンの呼び水になると考えています。	地域振興課
						移住定住施策の拡充に交付金が活用されたものと考えます。今後は、そもそも移住定住者数の増を目指す・見込むことが現実的かも踏まえ、目標値の検討が必要があると思料されます。	多くの若者が進学・就職により県外へ転出するため、UIターンによる移住者の増加を目指すことは現実的であると思いますが、目標値の設定が適正かどうかを含め、支援策の効果と併せて精査は必要であると考えます。	地域振興課

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略）

○：総合戦略のKPI達成に有効であった、●：総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、△：それ以外

項番	該当頁	事業名	○	●	他	意見・質問	回答	担当課
⑧	P.20-21	女性が輝くつばめプロジェクト	14	2	1	以前このプロジェクトの講演会実行委員をさせてもらいましたが、目的の趣旨とズレをかんじました。そもそも男性女性と表記することが差別だと思っています。	委員からは、男女共同参画の意識啓発として開催された、『つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ』の実行委員を務めていただき、ありがとうございました。男女共同参画は、男性、女性を性別により差別するのではなく、対等なパートナーとして認め合い、個性を発揮できる社会にしていくという取組です。女性が輝くつばめプロジェクト事業は、その実現を目指す取り組みの一つとして、今まで男性と同じように女性が力を発揮することが難しかった職場環境等を、より個々の事情に応じ柔軟な働き方を選択でき、ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりの実現を目指すこと、また女性のキャリアアップや意識啓発を図ることを目的としている事業です。	地域振興課
						数字は継続していく事により良くなるのではと思います。	ハッピーパートナー企業の登録社数につきましては、目標は達成できませんでしたが、企業を訪問し制度を理解してもらうことや、講演会等で登録企業から取組発表をしてもらうなどの取組を継続していくことで、制度の理解も進み浸透していくものと考えています。また、女性の働きやすい職場環境づくりに取り組む企業を対象にした各種事業の発信方法と発信先(ターゲット)などを調査研究し、効果的な方法についても検討していきたいと考えています。	地域振興課 商工振興課
						意識啓発の取組も重要ですが、より具体化した取組が望まれます。女性活躍推進法や次世代法に基づく行動計画の策定やその計画に定めた目標を達成させるような取組(支援)があっても良いのではないのでしょうか。	平成27年度よりこのプロジェクトを継続してきたことで、男女共同参画の理解も少しずつではありますが進んできたものと考えています。今後は引き続き意識啓発を図るとともに、ワークライフバランスの推進、個性と能力を発揮でき働き続けることができるような職場環境づくりに向けた支援を実施していきます。	地域振興課
						非常に良い取組と思います。この取組がもつと効果を上げ、男・女という垣根が無くならいいと思います。	性別にかかわらず働く人が、個々の事情に応じた柔軟な働き方の選択ができる職場環境づくりの実現を目指して、引き続き取り組みを進めていきます。	地域振興課
						今後も女性をはじめとする働きやすい職場環境づくりを進める企業の情報発信を、貴市と連携しながら取り組んでいきたいです。	市内企業の女性就業率は、県内トップとなっています。各社が取り組むハード・ソフト面における各種取り組みの支援策を随時検討していきます。また、女性の働きやすい職場環境づくりに取り組む企業を対象にした各種事業の発信方法と発信先(ターゲット)などを調査研究し、効果的な方法を検討していきたいと考えています。引き続き関係機関と連携しながら取り組んでいきます。	商工振興課
						つばめこまち応援隊の活動がどれだけ有効であるのか…です。今後は女性だけではなく男女両方の目線の上に立ち、引き続き企画を手伝っていただければと考えております。意識はその先のダイバーシティと思います。	「活動☆つばめこまち応援隊」の皆様からは、平成28年度から男性も女性も働きやすい職場環境、働き続けることができる職場環境について検討を続けていただき、平成30年度末に市に対して提言書を提出していただきました。現在は提言を実現すべき取組を協働で検討していただいておりますが、委員がおっしゃる通り、女性だけではなく共に働く男性の意見も提言の実現化に向けては重要だと考えます。どういう形で男性の意見も反映できるかを含め今後の進め方を検討していきます。	地域振興課
						ハッピーパートナー企業登録社数は目標未達でありますが増加、また、女性雇用者数も順調に増加しています。女性用施設工事費補助金は交付件数が減少していますが、必要事業所に補助金が行き渡ったからか、もしくは告知不足でしょうか。	ハッピーパートナー企業の登録については、企業訪問による制度説明、登録企業による取組事例の発表、またWEBでの情報発信などを通して目標達成に向けて引き続き取り組んでいきます。また、女性用施設工事費補助金の交付件数の減少について、他の補助制度同様に市内事業所への周知を行っており、一定程度のニーズを満たすことができていると考えています。引き続き件数の推移を注視し、ニーズ把握に努めていきます。	地域振興課 商工振興課
						ハッピーパートナー企業、女性創業者とも増加しており効果が認められます。ハッピーパートナー企業は目標達成を目指して欲しいと思います。	目標達成には至りませんでしたが、登録促進を図るため企業訪問等の働きかけを続けたことから令和2年6月末現在53社の登録となりました。目標値である60社登録に向け取組を続けていきます。	地域振興課

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略）

○：総合戦略のKPI達成に有効であった、●：総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、△：それ以外

項番	該当頁	事業名	○	●	他	意見・質問	回答	担当課
						男女共同参画社会実現への環境整備には事業者・男性管理職の mindset が肝要であり、その推進のために交付金が活用されたものと考えます。今後は、それらへの事後聞き取り調査なども実施して、単なる普及啓発から実態に応じた取組みも必要であると思料されます。	この事業のスタート時は、女性が働きやすい職場環境づくり、女性の意識啓発を中心に取り組んできましたが、取組を進めていくにあたり、事業者、男性管理職の意識啓発も重要であるということで、平成28年度からは男性管理職を対象に、翌年度からは事業者を対象に講演会等を実施してきました。そこのアンケート結果や事業者へのインタビューで得た意見等を参考に、実態に応じた取組を検討、実施していきたいと考えています。	地域振興課
⑨	P.23-24	母子保健支援サポート事業	16	0	1	たくさんの支援サポートがありますが、このような支援が有ることを対象となる方がどれだけの割合で知っているのでしょうか。数年前の西川での事件？事故？あの時は今の支援は有ったのでしょうか。	母子保健支援につきましては、平成27年度に総合相談窓口を開設後、市民のニーズの把握に努め、支援の内容充実を図ってきました。支援内容につきましては、妊娠届出時や出産届出時に窓口で周知しており、さらに妊産婦・乳児に対する訪問や、保健センターで実施している母子保健事業においても重ねて周知をしているところです。	健康づくり課
						実績等の数字を見ると良かったと思います。	ありがとうございます。今後も、妊娠を望む夫婦に対する経済的支援などや、出産後も安心して相談できる支援体制の維持向上が図れるよう努めます。	健康づくり課
						何よりも出生率を上げる為、安心して子供を生み育てられる支援が必要です。	妊娠から育児までの切れ目のない支援のため、令和2年度から子育て支援課に移行した「妊娠からの子育て相談コーナー」との連携を密にし、安心して生み育てるための支援体制の整備に努めていきます。	健康づくり課
						子育てがきちんと出来る”親育て”が必要な世の中になっていると感じます。そういう視点でのフォローをお願い致します。	妊娠届出時の面接等で聞き取った状況では、妊娠前に子どもと触れ合う機会が乏しかったり、出産後の育児協力者が身近にいなかったりする様子が伺えます。そのような夫婦には、両親学級や妊婦訪問などの事業につなげることで、出産前から支援をしています。また、産後の育児支援については、出産医療機関と連携し、退院後なるべく早期に育児支援を開始しつつ、切れ目のない支援のために、子育て支援センター等で行っている育児相談・講座等の活用についても努めています。これからも、その親子・夫婦の状況に合わせた支援に努めてまいります。また、親から子どもへの貧困の連鎖を防ぐために、子どもたちだけでなくその保護者を支援する事業にも取り組む必要があり、現在実施している事業を継続していくとともに、引き続き、子どもの貧困対策検討会議などで協議検討していきたいと考えております。	健康づくり課 社会福祉課
					有効であったと思われず。	ありがとうございます。今後も、妊娠から育児までの切れ目のない支援のため、安心して生み育てるための支援体制の整備に努めていきます。	健康づくり課	
⑩	P.25-26	子育て世帯生活支援事業	17	0	0	空家対策とのコラボは検討していますか。	平成30年度から、「燕市空き家・空き地活用バンク」を利用し、土地または中古物件を購入する場合に、限度額10万円の加算項目を設け、現在まで事業を実施しております。	都市計画課
						世帯数の増加が数で判るので良かったと思います。	明確な数値により事業を評価いただけることが、この事業の特徴の一つです。	都市計画課
						安心して共働きの出来るシステム大切です。	安心して共働きの出来る環境の整備として、未満児保育(特に0歳児保育)の拡充や、児童クラブでの受入体制を整備するほか、病児・病後児保育事業を実施していきます。	子育て支援課
						合計特殊出生率が低下しており検討と対策が必要です。17年度から1.46%→1.41%→1.34%	数値的なもので見ると、全国平均値と同じような推移で進んでいます(17年度から1.43→1.42→1.36)。根本的な対応については、国の支援策を期待するところですが、燕市としても現状でできる限りの支援策を講じており、市民意識調査における「子育て支援に対して満足」と答えた人の増加につながっているものと考えます。	子育て支援課

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略）

○：総合戦略のKPI達成に有効であった、●：総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、△：それ以外

項番	該当頁	事業名	○	●	他	意見・質問	回答	担当課
						有効であったと思われます。	常に、利用者にとって、より有効な事業となるよう研究を重ねていきたいと考えています。	都市計画課
						今後は新型コロナウイルス感染症対策の中での施設利用の促進策を検討する必要があると考えます。	新しい生活様式に対応したなかで、施設利用については、ある程度の制限が必要となっています。その中でも必要なサービスが、必要な人へ届くよう、事業内容の充実を行いながら進めていきます。	子育て支援課
⑪	P.28-29	産業観光の推進	16	0	1	<ul style="list-style-type: none"> この事業は魅力ある街づくりアピールに繋がると思います。 効果があったと思うのでこれからも継続してもらいたいです。 自然要素、歴史要素の観光資源が乏しい我市は「ものづくり産業」を促進する事が大切です。 有効であったと思われます。 	引き続き産業観光の推進に努めていきます。	観光振興課
						ふるさと納税額は全国有数であり、返礼品の魅力もさることながら、地道なフォローの継続が現在の状況を作り出しています。今後も返礼品のブラッシュアップを行い、リピーターを増やし更に燕市の魅力発信を行って欲しいです。	今後も燕の技術力の高さを示す返礼品を選定するとともに、積極的なPRを行い、産業観光の推進を図っていきます。	総務課
⑫	P.30	インバウンド観光の推進	12	0	5	台湾へのアピールに集中していますが、逆に台湾を市民にアピールするギブ&テイクの関係になっているのですか。	インバウンド事業については、新潟からのアクセス、親日家が多いなどの理由から、台湾をターゲットに集中的にプロモーション活動に取り組んできました。台湾からインバウンドのお客様が増加し、その波及効果として市民のアウトバウンドにも繋がっていただくと考えています。	観光振興課
						<ul style="list-style-type: none"> 効果があったと思うのでこれからも継続してもらいたいです。 有効であったと思われます。 	引き続きインバウンド観光の推進に努めていきます。	観光振興課
						KPIが当該事業の効果に因るか不明であるため、評価できません。	訪日外国人旅行者が全国的に増加した影響があるものと考えていますが、台湾の旅行エージェントからの問い合わせは増加しており、プロモーションの成果はあったものと認識しております。	観光振興課
						新型コロナ問題で、今後の影響はどのように考えています。	コロナウイルス感染症の影響で、観光需要も大きく影響がでております。当面はインバウンド観光より、まずは国内における観光需要の喚起に努めていくことが最優先であると考えております。	観光振興課
						新型コロナウィルスの影響で、インバウンドは殆ど期待出来ない中でどんな穴埋めをしていけるのか…皆さん不安だけが募ると思います。	コロナウイルス感染症の影響で、しばらくはインバウンドにおける観光需要は期待できないものと考えております。しかしながら、インバウンド観光の復活を見据え、持っている観光資源の磨き上げに尽力していきたいと考えております。	観光振興課
						積極的な台湾への推進により台湾からの観光客はどの様に推移したのでしょうか（前年764人）。新型コロナウィルス感染症の終息が見えず、また、日韓関係の問題から韓国からの観光客も見込めない中、どの様にインバウンド観光を推進していくのか検討が必要です。	県からの速報値で外国人延べ宿泊者数の統計によると、燕・弥彦地域に台湾から来られて宿泊した人数は、平成30年は年間549人でしたが、令和元年は年間1,723人と大きく数値が伸びております。コロナウイルス感染症の影響で、しばらくインバウンドにおける観光需要は期待できないと思います。しかし、近い将来必ず復活する時がきますので、現在は、その時まで持っている観光資源の磨き上げに尽力していきたいと考えております。	観光振興課
						今後は新型コロナウイルス感染症対策の中での外国人観光客への対応策を具体的に検討する必要があると考えます。	外国人観光客のみならず、すべての観光客に対する感染症対策は必要になってきます。新たな生活様式に沿った受入体制の構築に努めてまいります。	観光振興課

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（燕市まち・ひと・しごと創生総合戦略）

○：総合戦略のKPI達成に有効であった、●：総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、△：それ以外

項番	該当頁	事業名	○	●	他	意見・質問	回答	担当課
⑬	P.33	燕三条工場の祭典	16	0	1	来場者数は非常に多いと感じました。その来場者の年齢、職業等のデータ及び感想等のアンケートは取ってますか。	年齢、住居地、交通手段、感想、などを記載していただくアンケート調査を実施しています。	観光振興課
						・効果があったと思うので、これからも継続してもらいたいです。 ・非常に効果が大きい事業だったと思われます。	貴重なご意見として参考にさせていただきます。	観光振興課
						・昨年は取組内容も広くなり今後大いに期待していたところの中止。大変残念ですが、コロナ以後の発展に期待します。 ・イベントとして更なる成長を期待したいです。中止でもWebの利用等で新たな切り口、アイデアでの動きを期待しています。	今年度はコロナウイルス感染症の影響で、開催を中止いたしました。今後については、新しい生活様式を取り入れたなかで、オンライン等の開催を含めて検討していきたいと考えています。	観光振興課
						「燕三条工場の祭典」は知名度も高くなり来場者も増加していますが、昨年の課題であった受入態勢の改善に対し、どの様に取組んだのか、また、参加企業（工場）が固定化している感があります。	今年度はコロナウイルス感染症の影響で、開催を中止いたしました。毎年、内容の改善を図っておりますが、参加企業の固定化など、マンネリ感を出さないように改善していきます。	観光振興課
						今後は新型コロナウイルス感染症対策の中での祭典のあり方・手法・支援策について、具体的に検討する必要があると考えます。	今後については、新しい生活様式を取り入れたなかで、オンライン等の開催を含めて検討していきたいと考えています。さらに、今後の祭典の在り方、手法などについても、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた方向性を検討していきたいと考えています。	観光振興課
⑭	P.34	中越地域文化・観光振興事業	16	1	0	入館者数が前年度より増加したとありますが、実際に何人から何人に増加したのですか？殆どの事業はその実績数字が記載あります。	分水良寛史料館は、H30年度2,888人に対しR1年度3,212人で324人の増、長善館史料館は、H30年度1,486人に対しR1年度1,342人で144人の減となっており、合わせると180人の増となっています。	社会教育課
						効果があったと思うのでこれからも継続してもらいたいです。	今後も文化観光の振興に努めていきます。	観光振興課 社会教育課
						良い取組ですが、一般市民への周知が不足ではないでしょうか。	史料館の特別展・企画展について、広報つばめのほか、ポスターやホームページでの周知を行っておりますがより一層の周知に努めていきます。	社会教育課
						有効であったと思われます。	今後も文化観光の振興に努めていきます。	観光振興課 社会教育課
						今後は新型コロナウイルス感染症対策の中での観光客への対応策を、具体的に検討する必要があると考えます。	外国人観光客のみならず、すべての観光客に対する感染症対策は必要になってきます。新たな生活様式に沿った受入体制の構築に努めていきます。	観光振興課
⑮	P.42	スポーツイベント誘致による交流人口の拡大	11	3	3	東京オリ・パラと結びつける意味が分かりません。	外国選手団の受入は、PR効果も高く交流人口拡大の一端を担うものと考えています。	社会教育課
						交流することは良い事です。今すぐではなく先につながるような効果が現れると考えます。	今後も交流人口の拡大に努めていきたいと考えています。	社会教育課
						・新型コロナウイルスによる東京オリンピック・パラリンピック開催延期など、スポーツ活動環境に変化が生じているため、評価できません。 ・もう一歩踏み込んだ取組がほしいです。	「新しい生活様式」等を最大限考慮しつつ、今後、スポーツイベント誘致の在り方を検討していきたいと考えています。	社会教育課
						コロナウイルスに依るオリンピック2021年に延期に依る影響は大きいと思います。	コロナ禍への対策を最大限考慮し、交流人口の拡大に今後も努めていきます。	社会教育課
						有効であったと思われます。	今後も交流人口の拡大に努めていきます。	社会教育課
						今後は新型コロナウイルス感染症対策の中でのスポーツイベント誘致のあり方について、現実的に検討する必要があると考えます。	「新しい生活様式」等を最大限考慮しつつ、今後、スポーツイベント誘致の在り方を検討していきたいと考えています。	社会教育課

令和2年度燕市総合計画審議会書面協議質問回答票（自由意見）

意見等	回答	担当課
<p>今後も貴市と連携を図りながら雇用情勢に応じた取組を実施していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>	<p>ぜひとも引き続き貴所と連携し、各種取組を実施していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>	<p>商工振興課</p>
<p>直近の新型肺炎の状況から、今まで通りのやり方だと厳しいと思われますが、止まる事なく地域の発展の為のセミナー等は続けていただきたいです。特に農業の省力化は力を入れる方が良いと思ひます。燕三条ブランドが定着しつつある今はチャンスと思われますが。</p>	<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の状況等に注意しながら実施に向け検討してまいります。</p>	<p>農政課</p>
<p>各種事業を積極的に展開されていると思ひます。令和2年度からの新戦略においても引き続き、積極的な展開を期待しております。</p>	<p>今後も市民の皆様のニーズを的確に把握し、「日本一輝いているまち」を目指して積極的に施策を展開してまいります。</p>	<p>企画財政課</p>
<p>新型コロナの流行にともない、観光、企業誘致、IUターン戦略など、各施策で考え方や捉え方が変化してきていると思ひます。計画の見直しが必要であれば、検討願ひます。</p>	<p>個別の事業については、すでに対応しているものもあります。それによって計画の変更が必要になった場合は、適切に対応してまいります。</p>	<p>企画財政課</p>
<p>関係各位の並々ならぬ御尽力の総合計画成果指標の作成お疲れさまでした。この審議会の末席に加えていただいた経験は、この市を觀る目を変えてくれたような気がしますが。燕大好き人間として、微力ながら、何かしたいと思ひます。</p>	<p>今後ともご協力をよろしくお願ひいたします。「燕大好き」を市民の皆様にも広げていけるよう、シビックプライドの醸成を目指してまいります。</p>	<p>企画財政課</p>
<p>・全体を通して総論と言わせてもらえば、一部のプロジェクトはまだこれからと言わざるをえないところはありますが、全体的に見れば良いと言えるのではないのでしょうか。 ・これからの状況を見守りながら期待していききたいと思ひます。</p>	<p>達成しているものは更なる高みを目指し、達成していないものは、達成できるよう努力してまいります。</p>	<p>企画財政課</p>
<p>いつもの通常会議よりも、今回の書面会議の方がより多くの意見が出せると思ひます。限られた時間内に委員の方々それぞれ発言するには厳しいと思ひます。事務方は大変かと思ひますが。</p>	<p>通常の審議会では、限られた時間の中で十分なご発言の時間が確保できずにご不便をおかけしてしまひます。今回の書面協議では、たくさんの貴重なご意見をいただきました。通常の審議会においても、できるだけ委員の皆様のご発言時間を確保できるよう、工夫したいと思ひます。</p>	<p>企画財政課</p>
<p>全体を通して、実に多くの事業が進行していると感じました。今後人口減少は益々進むと予想されてしまひますが、限られた予算が更に減額されるならば、幅広く多くの事業を進めるよりも、有る程度事業を絞り、ここだけは日本一と云われる燕市を目指す、アピール度が増すと個人的には思ひます。これには非常に危険な面も持っていますし、国家戦略として全各市町村のマッチングを調整しなければだと思ひます。</p> <p>提案『燕・ものづくりの町』 市内の製造業を登録する。 商品を探しているクライアントに対し、検索サイトを活用。ヒットしない場合にOEMにて製造可能な企業の斡旋をする。各社それぞれのホームページはあるが、技術があってもページが無い企業もある。私はこれまで相談はニコに行っていました。たまたま一つの装置は市内企業で発注になりました。今回、そのニコ(新潟県産業創造機構)の燕版のイメージです。これは、市内企業と産業の発展に繋がります。 個人的ですが、現在、上下可動式栽培ラックを探してしまひます。</p>	<p>ご提案いただいたニーズとシーズのマッチングは、現在、燕三条地場産業センターがその役割を担っております。既存サイトの掲載内容や機能が不十分な点もあることから、ご提案内容を踏まえ、機能改善を図り、産地保有の高度な技術を活用した新たな販路開拓に積極的に取り組んでまいります。</p>	<p>商工振興課</p>